

光ケーブル布設工における安全対策について

松下電建株式会社

光ケーブル布設工事

(工期:平成17年12月21日～平成18年3月27日)

現場代理人 洞口 英一
主任技術者 洞口 英一



1) はじめに

本工事は、高山市上宝町地先から高山市奥飛騨温泉郷中尾地先で架空光ケーブルを地中管内配線に
布設替えるものであります。地中管路の線路ルートは、災害による被害や支障移転などの影響が少なく、
また景観上好ましいとされています。

そこで光ケーブル布設工法の紹介と、安全対策について報告致します。

2) 工事概要

工事内容

地中管内配線(DSF20C+SM100C)	…2500m
地中管内配線(SM100C)	…1900m
直線接続工(DSF20C+SM100C)	…3箇所
直線接続工(SM100C)	…2箇所
光ケーブル試験(DSF20C+SM100C)	…1対向
光ケーブル試験(SM100C)	…1対向
コンクリート柱建柱(12m柱)	… 1本
鋼管柱建柱	… 1本
架空光ケーブル撤去(SM44C-SSF)	…57径間
装柱金物撤去	…57箇所

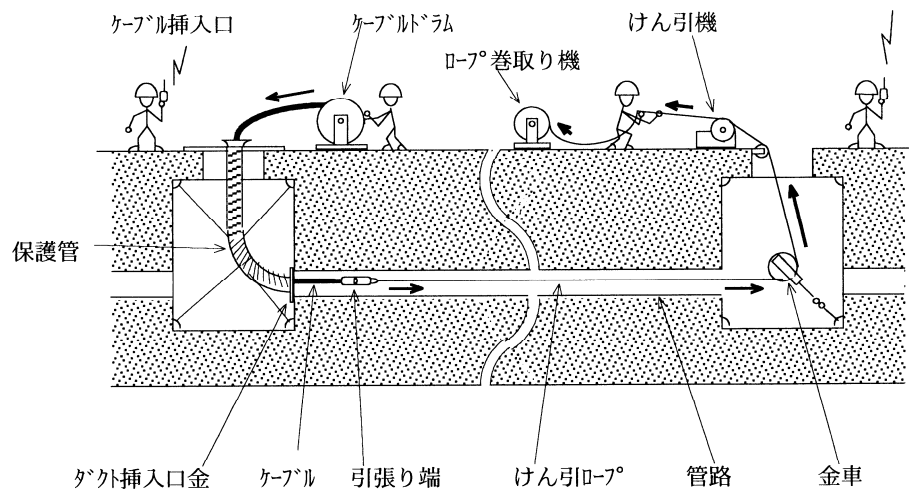
工事場所（高山市上宝町地先から高山市奥飛騨温泉郷中尾地先）



3) 光ケーブル布設（通線作業）

光ファイバケーブルの管路内布設施工は、現場状況により、人力施工又は機械施工により実施します。

また、ケーブルを通線する場合は、事前に通線張力計算を行い、ケーブルの許容張力を超えないことを確認のうえ、通線作業を実施します。



施 工 状 況（工事未着手の為、施工例を記載）



けん引機



ケーブルドラム

4) 安全管理

1. 安全教育、体制

施工に当たっては、「労働安全衛生法」「酸素欠乏症等防止規制」及び「建設工事公衆災害防止要綱」等に定めるところに従い、労働災害等の未然防止に努めるとともに、必要な処置を行います。

2. 工事の安全

工事中における安全の確保を全てに優先させ、労働安全衛生法等関連法令に基づく措置を常に講じます

3. 交通安全

一般道路で作業を行う場合は、関係官公署の許可を得て、その許可条件に従い、通行車両、歩行者の運行支障が生じないように対処します。

4. 火災の防止

ガソリン等可燃物の周囲に火気使用禁止を表示し、周囲の整理を励行する。
指定場所以外での喫煙を禁止します。

5. 環境対策

工事施工に伴う騒音、振動、粉塵などの発生を最小限に食い止める処置を行い、関係法令を守る。
作業場所は常に整理整頓します。

6. 事故発生時の措置

工事の施工に先立ち、事故発生時の緊急連絡方法などを定め、緊急時における連絡及び措置を適切に実施できるよう作業者に周知徹底を図り、人身事故が発生したときは、人命救助を最優先します。